

平成30年度 亥さん午さん達の田作り

～第12期大椎っ子田んぼ、第9期あすみっ子田んぼ 草取り編～

大椎小は田植えから2ヶ月、あすみ小は1ヶ月が経ち、1本植えた苗も分けつし中には10本以上の立派な稲株となっているものもあります。稲株の間にはたくさんの草も生え、子どもたちは草取り作業に精を出しました。大椎小は地元の方から小山町の田んぼのお話や作業のご指導をしていただきました。あすみ小は草取りだけでなく鎌を使って畦の草刈りもしました。初めて尽くしの作業を経験した子どもたちの感想です。

◎大椎っ子田んぼ (7月12日実施)

★田植えの時よりも苗がものすごく生長していた。田んぼの中にはざっ草が生い茂っていた。地元のおじさんがきけんな生き物のことや雑草の取り方などを教えてくれた。ざっ草はなかなかへらなかったのてつかれた。(A.I)

★初めましての草取りだったけど、深い田んぼに入った。やってみたら楽しかった。自然観察では、カメや水クモ、バッタなどを見つけた。よくわからない生き物もいたけど、楽しかった。(S.Y)

★草取りをしてお米を育てている人の大変さを知った。根っこからぬいていかないといけないので、大変だった。中には根っこごとぬいてバケツに入れないといけない草もあり、1本1本ていねいにぬいた。大変だったけど、楽しかった。(N.Y)

★田んぼの草取りをやったことがなかったので、楽しみだった。実際にやってみると、庭の草取りよりつかれた。田んぼの中を歩くときも稲を傷つけないように歩いた。草をとるのも根っこをしっかりにとぎってぬいた。それが1番体力を使ったけど、楽しかった。(S.M) ★田んぼに生えていたたくさんの草をいっきにとったので、スッキリした。(Y.Y)

★田んぼの草取りをしようとしたら、草のしたにいろいろなたまごのようなものがあつた。バッタもあちこちにいた。自然観察ではシオカラトンボやバッタ、チョウチョがいた。トンボを見ることができてよかった。また行ってみたい。(Y.N)



(S.T)

★田んぼに入るのは2回目だけど、やっぱりなれない感じだった。でも冷たくて気持ちよくなってきた。草をとる時は稲をふまないように気をつけた。いっぱいとれたと思う。自然観察ではいろいろな虫をみつけたが、探すのにむちゃうになってしまった。もっと田んぼのことが知りたい。(C.S)

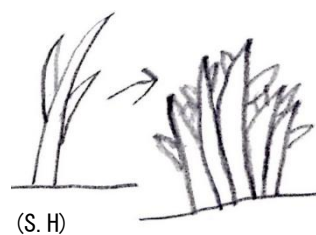


★田んぼの中は少し気持ち悪くて虫もいて嫌だったけど、草がぬけるとスカッとして楽しかった。田んぼの中も時間がたつと気持ちよくなってきた。自然観察ではいっぱい虫がいて、知らない虫もいておもしろかった。(C.N)

★田植えのときよりも苗が大きく育っていてびっくりした。ひざぐらいまでのびて、2～3ヶ月ですぐに育つとわかった。自然観察では自分でつかまえた虫をみんなで発表できてよかった。(T.N)

★田んぼにいっぱい草が生えていた。ぬいた草を土の中にうめた。たくさん生えていたので大変だった。(H.N)

★1本しか植えなかった苗が6本くらに増えていたので、びっくりした。稲とにている草があつたり、ごちゃごちゃに植わっている所で稲をふみそうになつたりして大変だった。自然観察では、田植えのときよりも生き物がたくさんみつかったのでおもしろかった。(S.H)



(S.H)

★雑草をぬくことも稲をそだてるために大切なことだと知った。一番大変だったのは、雑草なのか稲なのかを見分けることだった。稲に似てい草もちちゃんとぬけてよかった。(K.O)

★田んぼの中に入り、足がよごれたり、育った稲が足にあたってチクチクしてかゆくなつたりして、いやな気持ちになって、田んぼから出たくなつた。でもこれを毎日のようにやっている農家の方々を思うと「もっとがんばろう」と思えた。稲がもっともつと育っていくのが楽しみだ。(M.O)



(H. N)

★稲と稲の間にたくさんの草がはえていて全て取りきれのか不安だった。田んぼの中にはクモや初めてみる「タイコウチ」がいた。稲は元気に生長していた。田植えの時とは違う生き物が見られてよかった。トンボがたくさんいてびっくりした。

(H. N)

★草取りのコツがつかめず大変だったけど、友達を見ていたらコツをつかめた。1人ではぬけないものは友達とぬいた。時間をかけたものもあった。あっという間に草取りの時間は終わった。(H. B)

◎あすみっ子田んぼ (7月2日実施)

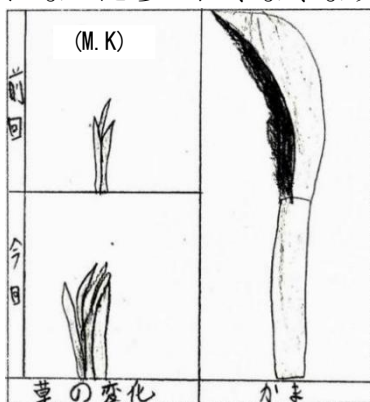
★草取りをやっているいろんなことを武井さんにおそわりました。草のかり方やカマのわたし方などをおそわった。ルールを守ってやったらけがなくできたのでよかった。草もきれいにかれた。かっでもかっでもまたのびてくるので、草は強いなと思った。次の田んぼの時にどれだけのびているのか心配だ。草取りをいっしょにやってくれたボランティアさんに感謝したい。(H. O)

★草刈りを始める前はカマがこわくてうまくできなかったが、二回目になったらこわくなくなりうまく草刈りができた。教えて下さった方が、「うまいね〜。家でやった事ある？」と聞かれ、「初めてやりました。」と返した。私は心の中で「やった。ほめられた。」とうれしくなった。(M. K)

★私は田んぼの中に入って草取りをした。深い所もあって、深くなるにつれ、ざっ草やこけが生えていたので、そこをがんばった。いねをふまないように、しんちょうに。大事に育てておいしいおこめをつくりたい。お母さん方もとてもやさしかったです！(A. S)

★田植えの時より苗が大きく育っていた。田んぼの中には思ったよりも草があった。苗がまっすぐ植えられていなくて、つながっている所の草を取るむずかしかった。田んぼの中は最初はつめたかったけど、前に進むと温かい所があった。場所によって温度が違う事がわかった。(C. M)

★思っていたよりカマで草が切れず大変だった。でもボランティアの人が「上手」とほめてくれてうれしかった。米作りをするのは大変な事が分かった。がんばっておいしいお米が作れるといいと思う。とてもいい経験になって良かった。(R. S)



★田んぼ日中で田んぼに入ると冷たくて気持ち良かった。前より稲が成長して30cm前後になっていた。深い所に雑草がいっぱいあって底なし沼のようなので、遠くからぬいた。雑草よりこけがいっぱいいうかんでいて、とるとスルッとおちてしまい大変だった。でもめったにないことなので、1回、1回を大事にして米作りについて学んでいきたい。とても楽しく草を取ることができた。(U. I)

★田植えから1ヶ月でたくさんの草が生えていたのでびっくりした。すごく長い草もあって、長さも1ヶ月でこんなになるんだなと思った。草を取るコツをボランティアさんに教えてもらい、たくさんきれいに取れた。草が多かったけど、みんなで協力して取ることができた。コツをつかむと取りやすくてよかったので、覚えておきたい。(R. T)

★小さかった苗が無事に大きくなったことが草取り作業の中で一番印象に残った。田んぼの中は、深くてこわかった。アメンボのような水面をすばやく移動するものやトンボがたくさんいた。あまり出来ない体験なので、成功して良かった。(M. F)

★虫がこわかったけど観察できた。安全にできたのでよかった。次はちがう生き物を見たい。(S. S)

★田植えの時に足がはえていたオタマジャクシもカエルになっていて成長したと思った。(H. T)

★6月と7月では、田んぼにいる生物の種類や数がちがった。次はどうなっているか楽しみ。(I. K)

★田植えで自然観察を時よりも大きくなっていたり、増えたりしている生き物がいた。とても変化があっっておもしろかった。(C. Y)

★自然観察では、6月のときにくらべていっぱい虫が成長してた。(N. T)

★6月とはちがい、おたまじゃくしがカエルになったり、見られなかったトンボや魚が見られたり、前とはちがった生き物観察できた。(M. S)

★6月の時よりも生き物が活発に行動していることが分かった。(K. O)



(R. T)



里山たんけんレポート

第222回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2018年7月1日(日) 晴れ

子ども達が待ちかねたカブトムシは姿を見せませんでした。まだちょっと早いようです。それでもノコギリクワガタは姿を見せてくれました。アカネの仲間が羽化していて林縁で翅を休めていました。捕えて胸横の模様で種を見分けながら巡りました。特記はサラサヤンマが捕獲されたことでした。戻り道では小川に浮いて弱っていた別の個体をもう1頭見つけ救いました。下大和田で3度目の出会いです。良好な自然環境が残る谷津田に生息する由でサラサヤンマは千葉市のレッドリストB(重要保護生物)です。オニヤンマも飛んでいました。又マトラノオ数株が花をつけていました。年々生育地の乾燥化が進んでいるようで気懸かりな状態にあります。これも重要保護生物です。日頃、下大和田で何気なく出会っている動植物ですがなんと保護生物の多いことが、あらためて気付かされました。

(参加 大人8名、小学生3名、 報告・網代春男 写真・田中正彦)



第223回 下大和田 YPP「田の草取り」

2018年7月7日(土) 晴れ

6月9日に田の草は取っているのですが前にも増してコナギやトチカガミなどが田の中一面にはびこりました。草も大きくなっていて6月の草取りより大変でした。コシヒカリ田は取り終えましたが古代米の田は取り残しました。午後子ども達のお楽しみは小川に入ってジャブジャブ魚取りです。小川の生きもの魚8種、エビ1種の9種で作ったビンゴゲームで競いました。魚の捕り方の説明を聞いた後、15分の時間内で魚取りを競いました。なんと二人が3通りのビンゴを達成しました。また15分の制限時間内に9種すべてが揃いました。小川の豊かさをあらためて実感しました。採った生きものを持ち寄って1種毎に解説を聞きました。

(参加 大人37名、小学生18名、幼児7名
報告・網代春男 写真・田中正彦)



第159回、160回 小山町 YPP「緑米の田植え・田んぼの草取り」

2018年7月8日(日) 晴れ、14日(土) 晴れ

7月は初旬から中旬にかけて、あざみ谷3番(No.191 図参照)の田起こしと田植え、草取り、畦の整備をほぼ、同時に進めました。あざみ谷は、棚田になっていて、上の田から下の田へ、順々と水が巡るしくみになっています。水回しが難しく、日々の見回りを怠ると、すぐに干上がってしまい、棲息する貴重な生物に影響を与えてしまう上、あっという間に旺盛な草に覆われてしまいます。こんな事情があって、同時進行の作業は普遍的な風景です。6月末の梅雨明けから、各地では記録的な猛暑が続くなか、無理せず、休んでは、こまめに保水しての作業でしたが、あざみ谷には、鶯の囀りとともに、時折、涼しい風が渡って来てくるので、天国に居るような幸せな瞬間が度々訪れます。

(参加 7月8日(日) 大人7名、
7月14日(土) 大人4名、報告・写真 たんぽぽ)



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 7月 5日 ミスオオバコの花咲く。(たんぼぼ) カラスアゲハ飛来。(赤シャツおやじ)
7月17日 大椎田んぼ(コシヒカリ)出穂。(たんぼぼ) クマゼミの声、エンマコオロギ終齢(赤シャツおやじ)
7月23日 あすみ田んぼ(コシヒカリ)出穂。ニイニイ、アブラ、ミンミン、ツクツク揃い踏み。(赤シャツおやじ)
7月29日 オニヤンマ、低空飛行。チョウトンボ複数飛来。(たんぼぼ、赤シャツおやじ)



下大和田

- 7月 1日 ヤマトラノオ満開。(網代)
7月 6日 オオムラサキ発生。(網代)
7月19日 コシヒカリ出穂。(網代)
7月20日 カントウヨメナ咲く。(網代)

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、谷津田プレーランドプロジェクト(YPP)のイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうしで、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

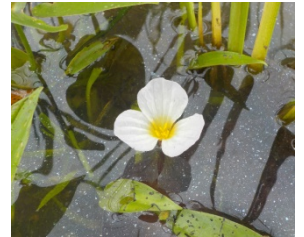
連絡先(いずれも): ちば環境情報センター(Tel&Fax: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。

・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。

・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。



ミスオオバコの花 撮影 たんぼぼ

▼第224回下大和田 YPP「かかし作り」▼第225回「コシヒカリ稲刈り」

8月は田んぼの守り神かかしを作ります。9月は稔ったコシヒカリなどの稲刈りをします

日時: かかし作り 2018年8月11日(土) 9時45分~15時 ☆小雨決行

稲刈り 2018年9月 8日(土) 9時45分~15時 小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。)

集合: 現地9時45分 初めて参加する方は駐車場や会場をご案内しますので事前に、
網代(あじろ)090-2301-0413までご連絡ください。

交通: JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのちばフラワーバスで中野操車場バス停下車、
徒歩5分で現地。<千葉駅発8:25、8:40など、所要時間45分>料金は540円。

持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、着替え、長靴(かかし作りは普通の長靴、稲刈りは田んぼ用長靴)敷物
など。(かかし作りはかかしに着せる不要になった古着、顔用に白い布など持参してください。)

参加費: ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料

主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼里山くらぶ 森と水辺の手入れ

山林内の下草刈りをします。

日時: 2018年8月19日(日) 9時45分~14時 ☆小雨決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 現地9時45分 初めて参加する方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 弁当、飲み物、帽子、軍手、長靴、長袖長ズボンの服装、敷物など

主催: ちば環境情報センター



チョウトンボ 撮影 赤シャツおやじ

▼第224回下大和田谷津田観察観察会とゴミ拾い

トンボの調査を兼ねて行います。トンボは捕えて種を記録、マーキングをして放します。

日時: 2018年9月2日(日) 9時45分~12時 ☆雨天決行

場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)

集合: 現地9時45分 初めて参加の方はご連絡ください。(同上)

持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費: 100円(小学生以上、資料代など)

主催: ちば・谷津田フォーラム、ちば環境情報センター

▼小山町 YPP

YPPの8月の活動はお休みですが、「学校田んぼかかし作り」を行います。

8月22日(水) 10時~12時 りんどう広場集合(雨天の場合、予備日①8月23日(木)、予備日②24日(金))

■編集後記 小学校田んぼの、子どもたちによる草刈りは田植えからほぼ一ヶ月経過した梅雨明け早々に行われました。先月以上に生命に満ち溢れる田んぼに、遅く急速に成長した稲、それに負けじと広がる草に触れ、子どもたちは、生命の力強さを肌で感じたのではないのでしょうか。一方で、7月は、全国的に異常な猛暑が襲い、中国・四国・九州地方では異常な降雨が襲い、甚大な被害をもたらしました。自然の猛威を改めて認識するとともに、災害に遭われた方々の一刻も早い復興を願ってやみません。(赤シャツおやじ)